

2020 年度
学校教育における
即興型英語ディベートの推進・指導者育成
中間報告書

助成：公益財団法人 日本財団

2021 年 11 月

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）



目次

1 研修会・地域交流大会・合宿・大会

1.1	PDA 静岡県立静岡高校即興型英語ディベート	4月28日
1.2	PDA 三重県立四日市高校即興型英語ディベート	5月6日
1.3	PDA 岐阜県立岐阜高校即興型英語ディベート	5月14日
1.4	PDA 愛知県立岡崎高校即興型英語ディベート	5月23日
1.5	PDA 即興型英語ディベート東海交流大会	6月12日
1.6	2021年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)	6月18日
1.7	2021年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)	7月9日
1.8	PDA 大阪府立北野高校即興型英語ディベート	7月13日
1.9	PDA 奈良県立奈良高校即興型英語ディベート	7月14日
1.10	PDA 滋賀県立彦根東高校即興型英語ディベート	7月21日
1.11	PDA 即興型英語ディベート青森交流大会 2021	7月24日
1.12	PDA 香川県立高松高校即興型英語ディベート	7月27日
1.13	PDA 滋賀県立膳所高校即興型英語ディベート	7月30日
1.14	PDA 愛媛県立松山東高校・京都府立堀川高校即興型英語ディベート	8月4日
1.15	文部科学省後援 PDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2021	8月6日・7日
1.16	PDA 関西高等学校即興型英語ディベート交流大会 2021	8月21日
1.17	2021年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)	9月3日
1.18	PDA 徳島市立高校即興型英語ディベート	9月18日
1.19	PDA 神奈川県高校即興型英語ディベート	9月19日
1.20	PDA 即興型英語ディベート北海道交流大会 2021	9月23日
1.21	PDA 神奈川県高校即興型英語ディベート	9月25日
1.22	PDA 東京都立日比谷高校即興型英語ディベート	9月30日

1.1



PDA 静岡県立静岡高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021年4月28日(水) 15:40-18:00

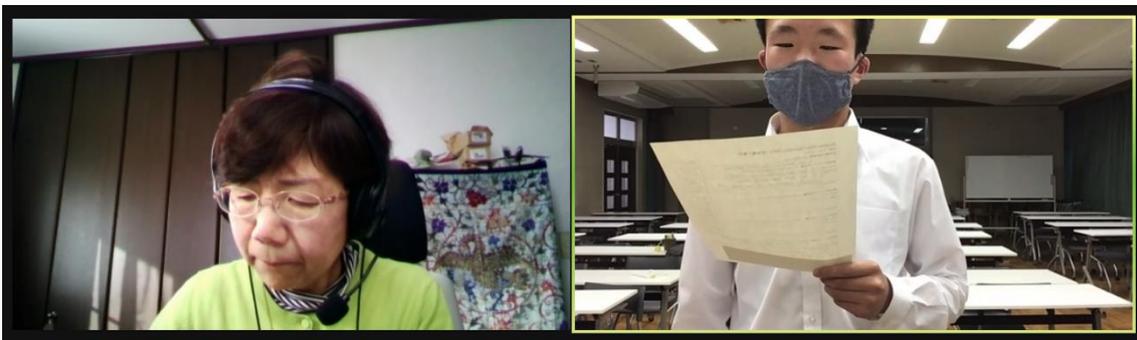
会場：静岡高校 (ジャッジはオンライン(Zoom)参加)

参加者：生徒21名、教員3名

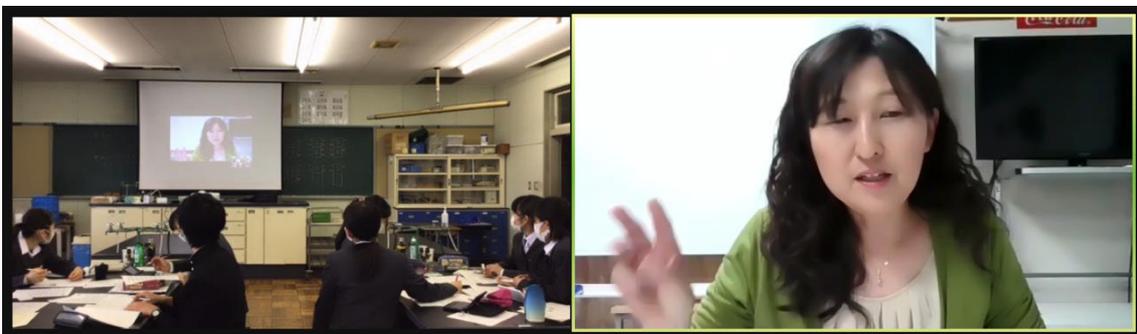
ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、一橋大学

はじめにルールの確認と POI の練習を行い、ディベートの実践を2回行いました。即興型英語ディベートをするのは今回が初めてだという生徒もおり、早くスピーチを終えたときの対応などをジャッジに確認し、ルールをしっかりと把握した上でディベートを始めようとする積極的な姿勢が見られました。ジャッジから「相手チームも POI にチャレンジして、意見をもっと詳しく聞くために質問をしてみよう」とアドバイスもらったチームはお互いに POI をしようというモチベーションを高め、ラウンドに臨みました。

実践(1)の様子



堂々とスピーチをしています



POIに関するジャッジからのフィードバック

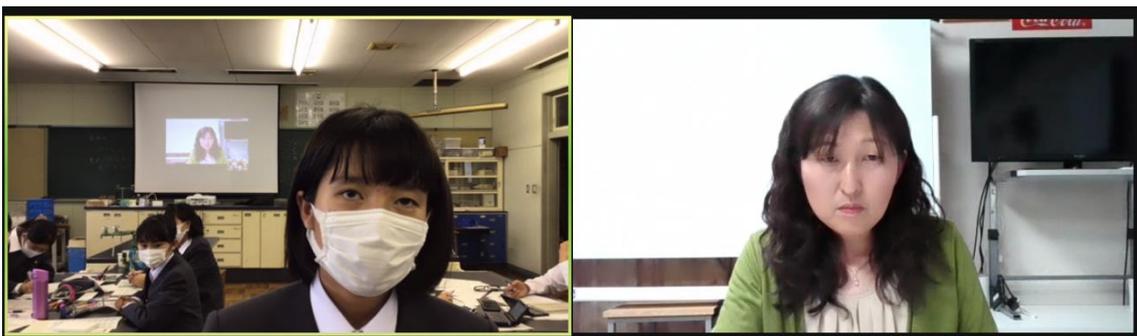


アイコンタクトをしながらスピーチしています

実践（２）の様子



ジェスチャーを用いてスピーチします



ジャッジにうったえかけるスピーチをしています



自信を持ってスピーチしています

最後に、2ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「即興型英語ディベートは初めてで緊張したけれど、回を重ねて楽しくディベートできた。」と感想を述べました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- 一人一人にアドバイス等をして頂き、自分の文章の組み方や英語の使い方を考えることができた。とても有意義で、良い時間になりました。 また挑戦してみたいです。
- 短い時間だし、凄く焦るしで大変だったけど、グループで話して意見を出すのが純粋に面白かった。
- 初めてディベートに参加して、英語で自分の意見を言うのは難しかったけど、いろんな意見が聞けていい刺激になった。
- 限られた時間で英語を表現するのを難しく感じた。だか、とてもためになったと思う。
- 即行型はとても大変だったけれど、学びになりました。より英語の勉強を頑張りたいと思うようになりました。
- 自分の弱点も知れたし、自分のチームの仲間と相手チームのいい意見や表現を知れてとてもいい経験になったし、これからの英語学習をもっと頑張りたいと思うきっかけをもらった。
- ディベートを英語で行うことが初めてなので、とても良い刺激になりました。賛成と反対の意見両方を聞き考え方が広がりました。意見を英語に変えることの難しさがよくわかりました。ですが、貴重な経験をさせていただきよかったですと思います。
- 初めて参加してみて、とても緊張しました。思ったよりも英語が使えなくて、辛かったです。しかし、やってみたら楽しかったです。
- 1回目で頂いたアドバイスや気づいたことを参考に、1回目よりもしつかり英語で意見を言えてうれしかった。とても難しく、初めは止まってばかりだったが、自分でも少し成長できたのを感じられて良かったです。
- 反論をうまく考えられたなと思うところがあったり、自分の中から英単語を引っ張り出せたりしたときがとても嬉しく感じた。普段は授業でもこんなに自分の知っている英単語をフルに活用して話す機会がないので、自分の今の実力も分かったし、英語に触れることができとても楽しかったです。
- 自分が表現出来なくて伝えきれなかったことも、同じ仲間が言ってくれて助かったし、こんな言葉で伝えられるんだと思ってとても楽しかった。一年前に参加したときよりも少しは英語を話せるようになって嬉しかった。言葉の選び方とか構成の仕方とか学ぶことが多かった。

1.2



PDA 三重県立四日市高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年5月6日（木）16:00-18:30

会場：三重県立四日市高校（ジャッジはオンライン(Zoom)参加）

参加者：生徒18名、教員3名

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、九州大学

はじめに三重県立四日市高校の松岡校長先生より、「即興型英語ディベートをするのは初めてだという人も多いかと思いますが、チャレンジしてみようと思ったこと自体が素晴らしい。頑張ってください。」と激励のお言葉をいただきました。そして、PDAスタッフよりルールの確認とPOI（Point of Information: ディベート中に質疑応答を要求することができる）の練習を行い、ディベートの実践を2回行いました。



松岡校長先生によるご挨拶



POIの練習

実践（1）の様子

ディベート前は緊張した様子も見られましたが、ディベートが始まると堂々とスピーチをするだけでなく、POIをするなど積極的にディベートに取り組む様子が見られました。



堂々とスピーチをしています



ジャッジから役割ごとの説明も行われました



画面越しにジャッジや相手チームを見てスピーチしています

実践（２）の様子

ディベート実践（１）でジャッジから受けたフィードバックを活かし、相手のスピーチが聞き取りづらいときに積極的に POI をしたり、具体例を話そうとしたりする様子が見られました。ディベートが終わると画面越しに握手を交わしました。



アイコンタクトをしてスピーチ



元気よく POI !



ジャッジから一人一人へフィードバック

最後に、２ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「クラスや学年を超えた交流が楽しかった。」「議論することの楽しさや学びを実感した。」「昨年も参加したが、今日ディベートしてもっと頑張りたいと思った。」と感想を述べました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・今どれだけ自分が話せるのかがわかったのでこれからの英語の勉強に繋がりたい。
- ・やはり思ったより英語で即興で話すのは難しかったです。初めてだったのでかなり恐怖心があったのですが意外と私喋れるのかもしれないと思ったのと同時にもっと上手な子がいてその子たちのようになりたいなと思いました。
- ・もっとあんなふうに言えば良かったという後悔はあるが、楽しかった。
- ・とても楽しかったです！貴重な体験になりました！ありがとうございました！
- ・とても貴重な経験をありがとうございました！これからも英語力を伸ばしたり、客観的に見て説得力のある主張ができるようになりたいです。
- ・初めて参加しましたが、とても難しく自分の考えを英語で伝える事の難しさや、議論する事の面白さを感じました。とても良い経験になりました。ありがとうございました。
- ・1人ではなくチームで戦うので心強かったし緊張していたけれど、優しく指導していただき集中して考えることができた。
- ・英語で自分の意見を言い、それが相手に通じたと実感できたことが嬉しいです。普段の授業では、自分の英語で相手に伝わっていると実感することはあまりありませんが、ディベートに参加することで英語で意見を伝える楽しさを実感しました。1回目は、自分の意見を英語で上手く表現できませんでしたが、2回目は1回目よりも自分の意見をたくさん話すことができました。まだまだ拙い英語で、改善点は多いですが、英語を話すことに前向きになれました。自分の意見をすぐに英語にすることは難しいですが、綺麗な英語よりも、伝わる英語を意識して話しました。また、英語をとて上手に話している方のスピーチを聞いて、私も頑張ろうと思いました。今日はとても良い経験になりました。ありがとうございました。
- ・初めての体験で緊張したけど自分の言いたいことを伝えることの大切さと難しさを知れて良かった。挑戦して良かった。
- ・語彙力が無くても自分の意見を表現し反論を用意できた
- ・単純に自分で喋ることが楽しかったの事と自分がまだまだ出来ないことが沢山見えてきて悔しかったけどこれから頑張ろうと思えた。
- ・チームで協力できたし、仲良くなることができた

1.3



PDA 岐阜県立岐阜高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2021年5月14日（金）15:40-18:00

会場：岐阜県立岐阜高校（ジャッジはオンライン(Zoom)参加）

参加者：生徒15名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ

はじめに PDA ディベート推進委員長の大賀より挨拶があり、そのあとルールの確認や POI(Point of Information)の練習を行いました。英語でディベートをするのは初めてだという生徒も多い中、POIのポーズをキめることができました。



各チーム集合写真



元気にPOIをすることができています

実践（1）の様子

序盤では、各スピーカーの役割や相手チームからのPOIに戸惑う様子も見られましたが、ディベートが進むに連れて、チーム内の連携を見せ、スピーチすることができていました。ジャッジからのフィードバックでは、ディベート中にアイデアをチームメイトと共有する方法やスピーチの伝え方について具体的なアドバイスがなされ、生徒は次のラウンドに活かそうと説明に聞き入っていました。



堂々とスピーチをしています



c

実践（２）の様子

実践（１）でディベートの流れやコツを把握し、実践（２）では内容が具体的になり、反論や再構築もスムーズに行うことができました。ディベートが終わると、エア握手を交わし、お互いにスピーチ内容の確認をする様子が見られました。



ジェスチャーを効果的に行なっています



お互いの健闘をたたえてエアー握手



ジャッジから勝敗の説明と、全員へのコメントを行なっています



最後に、２ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「わかりやすいスピーチをしようと構成を考えてスピーチすることができて嬉しかった。」「自分がつまずいてもチームメイトが助けられて、チームワークの大事さを知った。」と感想を述べました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・自分の論が他の人に伝わっていることがわかって嬉しかったし、しっかり反論できた
- ・とても楽しかったです。このような機会を大切にしたいです。
- ・どう伝えればいいのかを考えながら話したり、二回のディベートを通して改善すべき点をたくさん知れた。今日指摘された部分を意識して、早くディベートがしたい！
- ・楽しかったです。相手の意見と自分の意見に差を見つけうまく反論することは難しいなと思いました。短い時間で双方の意見をまとめる力をもっとつけたいです。
- ・自分の強みと改善点が見直せたと思うのでこれから頑張りたいです！
- ・初めて、PDAの方の前で意見を言ったので緊張したけど、1ラウンド目よりも2ラウンドめの方が遥かに自分の納得のいくディベートができました。チームの子もみんな、おたがいに協力できて本当に楽しかったです！
- ・今まで満足に話せたことが殆ど無かったので、半ば勢いでしたが言いたいことを言い切れたので嬉しかったです。
- ・このイベントがあることを4日前に友達から知って、あわてて練習に参加したので、ルールから話す内容のことまで、よく分からないまま今日を迎えてしまいました。ですが、良かったところやアドバイスなど、客観的な視点を共有させていただいて、とても良い機会になりました。
- ・大きな社会問題について論じる時に、それがどのように自分達に関係するのか、どれだけ深刻なのかを考えてのべるとよいというアドバイスをいただいたので、実践したいと思いました！
- ・自分の改善点が明確に見つけられることができたし、もっとスキルアップしたいと思えたので良かったです。
- ・緊張感がある中、ディベートのルールを意識しながらできてディベートの良さを感じることができました。たくさんの人とディベートできてとても楽しかったし、課題もいくつかはっきりして良かったです。アドバイスありがとうございます！とても参考になりました！実践していきます！
- ・自分達だけで練習するには限界があるので、ジャッジの先生方の前で、緊張感をもって試合が出来て、アドバイスもいただけたのでとても有意義な時間になった。

1.4



PDA 愛知県立岡崎高校即興型英語ディベート

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021年5月23日(日) 10:00-12:00

会場：オンライン (Zoom)

参加者：生徒 12名

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、九州大学

はじめに PDA ディベート推進委員長の大賀より挨拶があり、東海交流大会への案内が行われました。そのあとルールの確認や POI(Point of Information)の練習を行いました。POI 練習では、しっかり POI のポーズをきめることができました。



実践(1)の様子

相手のポイントを掴むことや、即興で反論や再構築を考えることが難しいと感じつつも、なんとか考えたことを英語にしようとする様子が見られました。ディベート後はジャッジが勝敗を決めるまでの時間にお互いにどのようなことを話していたか共有し、理解を深めました。ジャッジからのコメントに対してもメモを取りながら次に活かそうと前向きに取り組む様子が見られました。



各ポイントの確認を行なっています



ジャッジコメントをメモしています

実践（２）の様子

実践（１）でディベートの流れを把握し、実践（２）では定義を考えたり、POIの内容を考えたりする様子が見られました。ジャッジへ POI のコツについて質問するなどディベート中だけでなくディベート後も積極的に取り組みました。

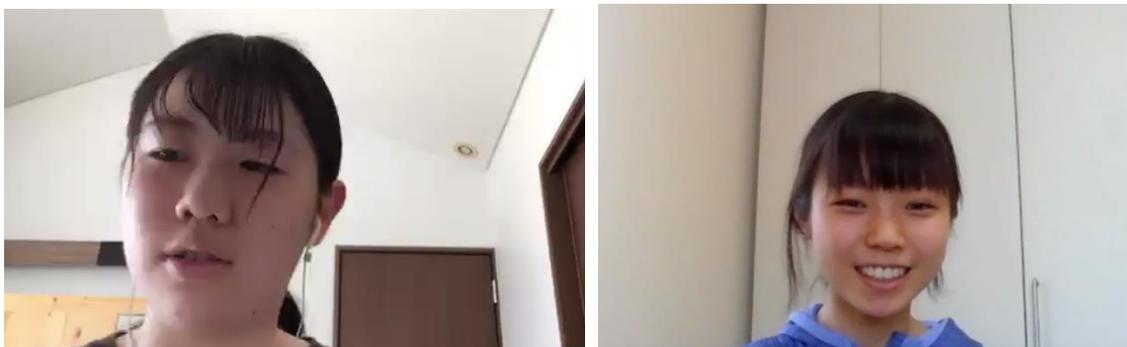


画面の向こうのジャッジや相手チームへスピーチ



ジャッジから勝敗の説明と、全員へのコメントを行なっています

最後に、2 ラウンド目でベストディベーターに選ばれた生徒が「オンラインでチームメイトと連携を取るのが難しかった。」「いつもより話すことができて嬉しかった。」と感想を述べました。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・今までは、部活内でお互いにジャッジし合っていて、ディベートに詳しい方に直接アドバイスしていただくことがなかったので、自分の改善点を見つけることができた。今日は、練習会を開催していただきありがとうございました！まだまだ、自分は改善すべき点がたくさんあり、もっと頑張ろうと思いました。いろいろ学ぶことができるとてもよい機会でした。
- ・初めてやってみて、私は全然短時間でしっかりとした文章をつくれなかったのですが、ほかの人たちは論理的に物事を考えて短時間でも長く話せていてすごいと思い、刺激的だった。
- ・即興で意見をまとめて英語で説明するのがとても難しかった。
- ・細かくご指導していただき、初心者ですが、楽しむことができました。
- ・まだまだ改善点ばかりなので頑張ってもっとできるようにしたいです。
- ・初めてでしたが、最初、自分にもついていけるぐらいゆっくりやってもらったので2回目も慣れて流れに乗ることができ、楽しかったです。
- ・初めてでしたが、雰囲気もつかめて、コツも少し教えてもらったので、すごく楽しく、より興味が広がりました！ありがとうございました。
- ・チームの協力もあって上手く伝わった時はとても嬉しかった。
- ・いつもなかなか解説まで聞けないので聞けてよかったからです。
- ・ディベートの後に丁寧にアドバイスを下さってとても勉強になりました。初めてのディベートでしたが最後までできてよかったです。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

■■■■ ■■■■ さん

■■■■ ■■■■ さん

■■■■ ■■■■ さん

1.5

PDA即興型英語ディベート東海交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021年6月12日(金) 13:00-17:00

会場：オンライン (Zoom)

参加校：4校、8チーム (岐阜県立岐阜高等学校、愛知県立岡崎高等学校、静岡県立静岡高等学校、三重県立四日市高等学校)

参加者：生徒29名、教員11名

スタッフ：PDAスタッフ、PDA認定教育ジャッジ、横浜国立大学、都留文科大学、大阪府立大学

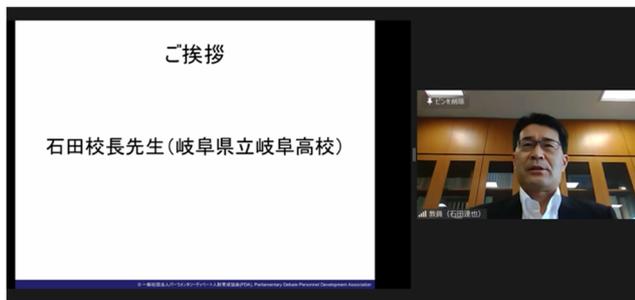
一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)



開会式では、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「大学でもオンラインでの教育活動が増えてきています。今日はオンラインで人とコミュニケーションをとるという貴重な機会になると思いますのでぜひ頑張ってください。」とエールが送られました。次に、岐阜県立岐阜高校の石田校長先生が即興で英語でスピーチしてくださりました。“Please be aggressive !!!”と、恥ずかしがらずにチャレンジして新しい自分になれるように頑張ってくださいと激励のメッセージが送られました。そして最後に静岡県立静岡高校の小関校長先生より「ディベートそのものが初挑戦な人もいるかもしれませんが、ミスや失敗を恐れずに精一杯チャレンジしてください。そして何より楽しんでください。」とご挨拶がありました。次にPDAスタッフより、参加した4校の学校紹介やPOI(Point of Information)の練習を行いました。



PDA 代表理事 中川智皓より挨拶



岐阜高校 石田校長先生よりご挨拶



静岡高校 小関校長先生よりご挨拶



POIの練習

第1ラウンドのお題は「**We should outsource coaching of club activities. (部活動の指導を外注すべきである。)**」でした。肯定側からは現状の教員の負担についてや練習の質の向上について、否定側からはトラブル発生時の責任の問題や体罰の問題などについて議論しました。ディベートが終わるとジャッジが勝敗を出している間、対戦したチームとお互いの学校の部活動の状況などについて会話を楽しみました。



POI！（岡崎高校 vs 静岡高校）



堂々とスピーチ（岡崎高校）



お互いの健闘をたたえてエアー握手（岐阜高校 vs 岡崎高校）



ディベート後の交流（左：四日市高校 vs 静岡高校、右：四日市高校 vs 岐阜高校）

続く第2ラウンドのお題は、「**Accepting immigrants does more good than harm. (移民の受け入れは害よりも利益をもたらす。)**」でした。日本の雇用状態などを考えてお互いに意見を交わしました。ディベートが終わると、普段どう英語の勉強をしているのか、ディベートの練習はどのように行なっているかなどについて話し、交流を深めました。ジャッジの先生によるコメントの時間になると、今後に活かそうと真剣に聞き入る様子が見られました。



堂々とスピーチ（四日市高校）



POI！（岐阜高校 vs 岡崎高校）



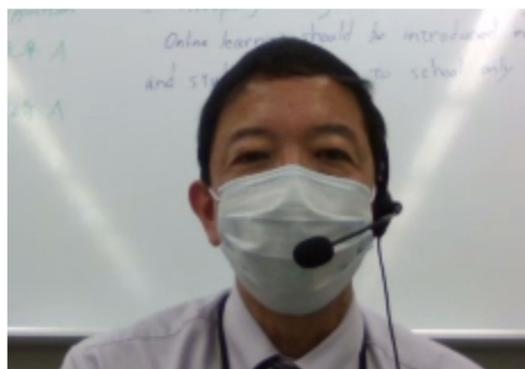
ディベート後の交流（左：岡崎高校 vs 静岡高校、右：四日市高校 vs 岡崎高校）

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビジョンディベートが始まりました。論題は「*Online learning should be introduced in high schools, and students should go to school only three days a week.* (高校では、オンライン学習を導入し、登校日を週3日にすべきである。)」でした。新型コロナウイルス感染症のリスクと対面で授業を受ける必要性・重要性について議論が交わされました。具体例もたくさん飛び交い、甲乙つけがたいディベートとなりましたが、見学していた生徒・教員の投票により、Government(肯定側)の勝ちとなりました。



エキシビジョンディベートの様子

閉会式では、三重県立四日市高校の松岡校長先生より、「楽しかったと同時にもっとこうできたのではないかという想いもあるかもしれません。今日の経験をバネに今後も頑張ってください。」と激励のお言葉が送られ、PDA即興型英語ディベート東海交流大会の幕が閉じました。



四日市高校 松岡校長先生よりご講評

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

- ・ PM ——さん (静岡高校)
- ・ LO ——さん (岐阜高校)
- ・ MG ——さん (四日市高校)
- ・ MO ——さん (岡崎高校)
- ・ LOR ——さん (静岡高校)
- ・ PMR ——さん (岐阜高校)



〈チーム賞〉

- ・ 1位 岐阜高校 A
- ・ 2位 岡崎高校 A
- ・ 3位 静岡高校 A
- ・ 4位 四日市高校 A
- ・ 5位 岡崎高校 B



1位 岐阜高校 A



2位 岡崎高校 A



3位 静岡高校 A



4位 四日市高校 A



5位 岡崎高校 B

〈ベストディベータ賞〉

- ・ ——さん (岡崎 A)
- ・ ——さん (静岡 A)
- ・ ——さん (岡崎 B)
- ・ ——さん (岡崎 B)
- ・ ——さん (岐阜 B)
- ・ ——さん (岐阜 A)
- ・ ——さん (岐阜 A)
- ・ ——さん (四日市 B)
- ・ ——さん (四日市 A)



ベストディベータ賞

〈POI 賞〉

- ・ ——さん (四日市 A)
- ・ ——さん (静岡 A)
- ・ ——さん (四日市 B)
- ・ ——さん (四日市 B)
- ・ ——さん (静岡 B)



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・相手の意見に反論しながら自分たちの立場を有利なポジションになるように話すのが楽しかった。
（岐阜高校）
- ・次も実施お願いします。（四日市高校）
- ・1.2回戦目はおもったことを全部いえた。（静岡高校）
- ・自分の新たな可能性に気づくことが出来た。（四日市高校）
- ・周りのレベルの高さに刺激された。自分の思いを何とか伝えようとするのが面白かった。（四日市高校）
- ・POI できた。自分の改善点が見つかった。 優秀な方のディベートを見れた。（岐阜高校）
- ・皆さんのスピーチが理論的ですごいと思った。英語が苦手な私でも楽しめた。（静岡高校）
- ・他県のかたと交流できる貴重な機会だったのでとてもよい刺激になりました。（岐阜高校）
- ・力のあるディベーターと交流でき、いい刺激になった。（静岡高校）
- ・いろんな高校の人と試合ができ、また違う高校の人と協力するという経験ができたのが良かったです。とてもいい刺激になりました。違う高校の人と交流する機会がなかなかない中で、このような貴重な体験ができてとても良かったです。（岐阜高校）
- ・自分で考えたことをチームで共有してディベートという形で表現するという体験が新鮮だった。思ったことを英語で表現すること、即興で文章にすることが難しいなと思った。
（静岡高校）
- ・ジャッジの方からのフィードバックから、新たな視点を得られたから。異なる学校の方とのディベートから学ぶことも多く、論点を発展させる楽しさも得られました。（静岡高校）
- ・自分の主張を上手く相手に伝えることができなかつたので、万人に納得させられる表現をできるよう頑張りたい。（岐阜高校）
- ・いろいろな社会問題に対して、関心や自分の意見を持ち、それをみんなで共有して話し合うというディベートは、多くのことが学べて、とても楽しかったです！コロナでなかなかコミュニケーションがとりにくい中、県外の学校の生徒さんと交流できてとても貴重な良い機会でした。今日は、本当にありがとうございました!!（岡崎高校）
- ・1回目の経験から、チーム内でも相手ともしっかり話し合っただけで反省ができたり、勝ちたいという思いをもってできた。新たな一年生のみんなとも一緒にディベートができてすごく楽しかったし、知らない高校の人たちと競い合える楽しさが分かりました！（岐阜高校）
- ・POI が沢山行き交う、とても充実したディベートができ、とても楽しかったです。（岡崎高校）
- ・他校の人達がとてもレベルが高く自分の未熟さを痛感しました。ですが痛感した分、より自分の技術を向上させたいと強く思えるようになりました。貴重な機会だったと思います。ありがとうございました！（岡崎高校）
- ・生徒たちが自分の意見を英語で主張し合う姿が素晴らしかったです！またディベート後に、離れていても、他校の生徒と交流することができたのも、生徒たちはとても嬉しそうで、いい機会をいただいたなあと思いました。（教員）
- ・オンラインによる画面越しでしたが、臨場感ある交流会でした。（教員）
- ・ディベートも素晴らしかったですし、その後の高校生同士の交流も良かったです。（教員）
- ・どの試合もレベルが高く見応えがありました。（教員）

2021 年度神奈川県教員研修(神奈川県教育委員会)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2021 年 6 月 18 日 (金) 14:00-17:00

会場：オンライン開催(Zoom)

参加者：教員 35 名 (横浜翠嵐高等学校、横浜平沼高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校、横浜国際高校、光陵高等学校、希望ヶ丘高等学校、川和高等学校、柏陽高等学校、多摩高等学校、横須賀高等学校、平塚江南高等学校、鎌倉高等学校、湘南高等学校、小田原高等学校、茅ヶ崎北陵高等学校、相模原高等学校、厚木高等学校、大和高等学校)

ジャッジ：PDA スタッフ、PDA 認定教育ジャッジ、神奈川県教員

はじめに、高校教育課指導主事である田中先生より、「みなさんの意見を取り入れながらより良い研修会にしていきたい。」と研修会の指針についてご挨拶いただきました。次に、学力向上進学重点校連絡会グローバル教育ワーキンググループ代表 (神奈川県立横浜平沼高等学校 校長) 鐘先生から「神奈川県の英語教育をリードする存在になっていただきたい。この即興型英語ディベートをどう授業に落とし込むかが重要なので、情報共有・意見交換の場としても活用してほしい。」とご挨拶、研修の経緯のご説明をいただきました。

次に、PDA 代表理事中川より授業導入に関するレクチャーが行われ、ディベート実践をする 50 分の時間をとる意気込みが重要だという説明がありました。そして PDA スタッフよりジャッジレクチャーが行われ、評価のルーブリックの活用方法紹介が行われました。

研修の後半では、初心者と経験者でチームに分かれ、ディベートの実践を行いました。第 1 ラウンド (Homework should be abolished.(宿題を廃止するべきだ。)) では経験者チームがディベートしました。初心者チームは見学を行い、ルールの確認を行いました。第 2 ラウンド (Highschool students should have part-time jobs.(高校生はアルバイトをすべきだ。)) では初心者チームが実践を行いました。



鐘先生によるご挨拶



ディベート実践の様子

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・ジャッジをする前のブレイクアウトルームで他校の実践を聞くことができ、勉強になりました。（相模原高等学校）
- ・経験者と未経験者を分けてラウンドをするアイデアがとても良いと思いました。（柏陽高等学校）
- ・初めてのディベートでしたが、流れがなんとなくは理解できたと思います。引き続き参加して教育活動につなげていきたいと考えています。（平塚江南高等学校）
- ・他校の先生方と意見を交換することができ、充実した時間でした。（横須賀高等学校）
- ・ディベートは難しいイメージがあり、できる気がしなかった。しかしテンプレートがしっかりしていたので思ったよりスムーズに行うことができた。もう少し自分の理解が深まれば授業にも取り入れられそうだと感じた。（大和高等学校）
- ・自分がまずは、しっかりディベート出来るようにしなければいけないと焦りました。（横浜緑ヶ丘高等学校）
- ・初めて今回の研修に参加させていただきましたが、より具体的な視点を持って学ぶことができ、また、実践もできる良い機会となりました。ありがとうございました。（鎌倉高等学校）
- ・アウトプットの良い機会となった。（茅ヶ崎北陵）
- ・思った以上に話ができませんでした。次回までに少し練習をしたいと思います！（多摩高等学校）
- ・本日はありがとうございました。いろいろな先生方のスピーチ等、とても参考になりました。（湘南高等学校）